

伊集院保健所感染症情報

2025年第42週（令和7年10月13日～令和7年10月19日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

管内流行発生警報発令中：伝染性紅斑

定点医療機関【インフルエンザCOVID2，小児科1，基幹定点1，ARI 2】

疾患名	警報基準値		注意報 基準値	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息		第39週	第40週	第41週	第42週	先週からの増減	第41週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	107.50	128.50	126.50	121.50	↘	59.74	↘
インフルエンザ	30	10	10	2.50	0.50	0.00	1.00	↗	1.39	↗
COVID-19	—	—	—	10.50	11.50	5.00	5.00	→	4.82	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	4.00	2.00	0.00	0.00	→	0.77	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	3.00	4.00	1.00	4.00	↗	2.03	→
感染性胃腸炎	20	12	—	1.00	0.00	0.00	0.00	→	4.06	↘
水痘	2	1	1	3.00	0.00	1.00	0.00	↘	0.19	↗
手足口病	5	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.10	↗
伝染性紅斑	2	1	—	3.00	3.00	1.00	4.00	↗	3.68	↗
突発性発しん	—	—	—	1.00	0.00	0.00	1.00	↗	0.26	↘
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.55	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.03	↗
R S ウイルス感染症	—	—	—	1.00	6.00	4.00	1.00	↘	2.26	↘

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

TOPIC

インフルエンザの予防接種を受けましょう

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れるのが特徴です。併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状もみられます。また、お子様では、まれに急性脳症を起こしたり、高齢の方や免疫力の低下している方では、二次性の肺炎を引き起こし重症になることがあります。季節性インフルエンザは流行性があり、いったん流行が始まると短期間に多くの人へ感染が広がります。日本では、例年12月～3月が流行シーズンです。

（ワクチンの効果）

現行のインフルエンザワクチンは、接種すればインフルエンザに絶対にかかることがないというものではありません。しかし、インフルエンザの発病を予防したり、発病後の重症化や死亡を防ぐことに関しては、一定の効果があるとされています。

（定期接種の対象者）

- ・65歳以上
- ・60～64歳で対象となる方（※）

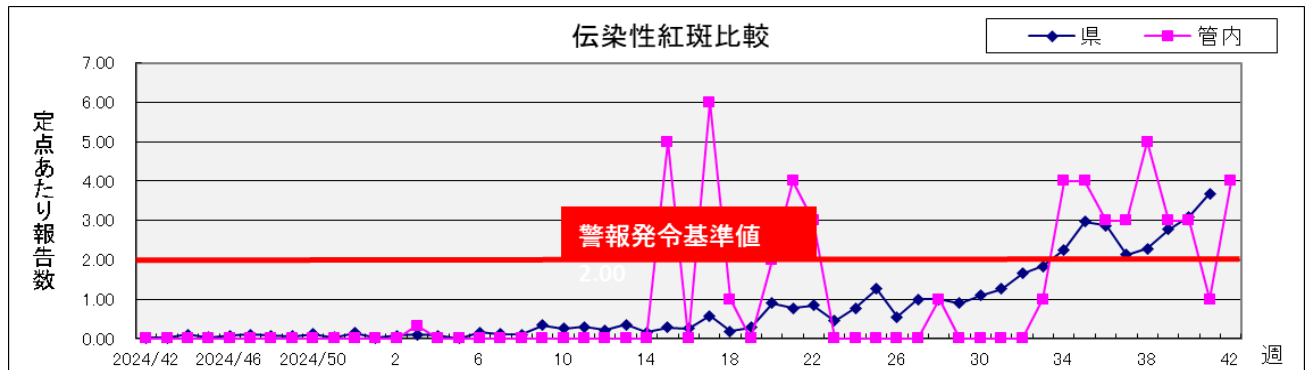
※心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方。

（接種費用）

・定期接種費用（自己負担金額）は各市村に問い合わせてください。また、定期接種以外の方は、各医療機関に確認してください。

● 注意すべき感染症

・ 伝染性紅斑（流行発生警報発令中）



第42週の伊集院保健所管内における伝染性紅斑の報告数は、4人でした。年齢別では、4歳（2人）、5歳・8歳（各1人）でした。

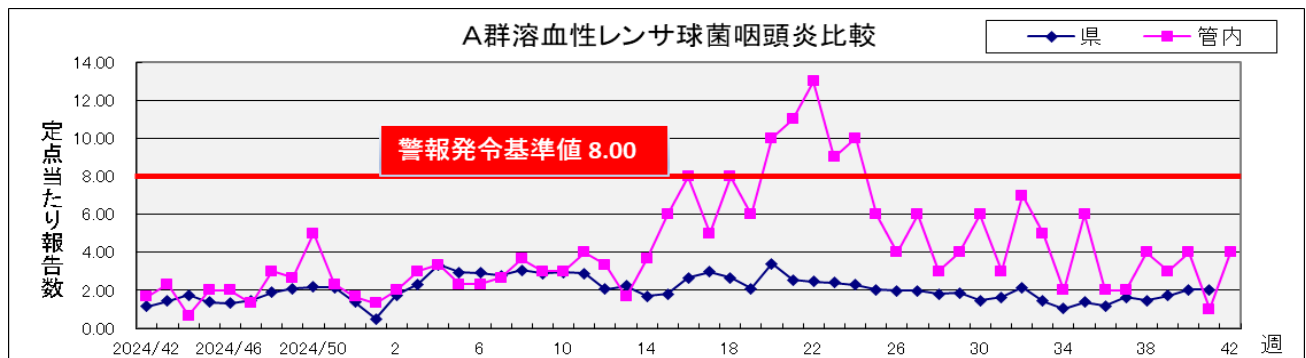
伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19による感染症です。小児を中心にみられる流行性の発疹性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることもあります。

10～20日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発疹（紅斑）が現れます。発疹は1週間程度で消失します。感染経路は、飛まつ感染や、接触感染です。

伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発疹が出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。

予防方法として、患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



第42週の伊集院保健所管内におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、4人でした。年齢別では、4歳（2人）、2歳・8歳（各1人）の報告でした。

感染すると、2～5日の潜伏期間を経て、突然の発熱や全身倦怠感、咽頭痛で発症し、舌が莓のように赤くザラザラとした状態になることもあります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」が主な感染経路です。

患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 10/13～10/19（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は、マイコプラズマ感染症が1人、COVID-19が7人報告されています。

自治体名	疾患名	
	マイコプラズマ感染症	新型コロナウイルス感染症
日置市	0	4
いちき串木野市	1	3
三島村	0	0
十島村	0	0
計	1	7